

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様およびご家族の方へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	上部尿路感染症患者における腎瘢痕形成のバイオマーカーとして血清soluble ST2の有効性に関する研究（後ろ向き）			
② 実施予定期間	倫理審査委員会承認後～2020年3月31日			
③ 対象患者	対象①：上部尿路感染症と診断された16歳未満の患者さん 対象②：上部尿路感染症やその他の感染症もなく、かつ腎疾患がないことが確認できている16歳未満の患者さん			
④ 対象期間	対象①：2008年1月1日～2016年12月31日 対象②：2010年1月1日～2016年12月31日			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	小児科			
⑦ 研究責任者	氏名	安戸 裕貴	所属	小児科
⑧ 使用する試料・情報等	血清（IL-6、IL-10、TGF- β 、IFN- γ 、soluble tumor necrosis factor receptor 1、IL-33、solubleST2）、年齢・性別 入院時の体温、有熱期間、入院時（有熱時）の末梢血白血球数、ヘモグロビン、血小板、CRP、フィブリノーゲン、D-ダイマー、 退院後排尿時膀胱尿道造影の所見、DMSAシンチグラムの所見			
⑨ 研究の概要	上部尿路感染症発症後の腎瘢痕形成の病態の解明、早期発見することで、治療法の発展ひいては患者の腎機能維持へとつながります。 対象①の上部尿路感染症をDMSAシンチグラムで腎瘢痕例、非腎瘢痕例に分類し、対象①の腎瘢痕例、非瘢痕例、対象②の各々の群で、年齢、性別、入院時の体温、有熱期間、末梢血白血球数、ヘモグロビン、血小板、CRP、フィブリノーゲン、D-ダイマーの情報を、また特に腎瘢痕のマーカーとして可能性のある血清サイトカイン（IL-6、IL-10、TGF- β 、IFN- γ 、soluble tumor necrosis factor receptor 1、IL-33、sST2）の情報は残血清より測定し、それぞれ比較検討することで上部尿路感染症の腎瘢痕形成の病態の解明と早期発見をすることを目的にしています。			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019年 1月 30日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			

⑫ 結果の公表	投稿論文として公表します。		
⑬ 個人情報の保護	研究の結果を公表する際は、個人を特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	小児科学講座の文部省科研費を用いて実施する。		
⑯ 利益相反	開示すべき利益相反関係はありません。		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座 安戸 裕貴		
	電話	0836-22-2258	FAX 0836-22-2257